

2016年1月1日
テオリア第40号

定価 350円

毎月10日発行

定期購読料 年間 4000円

半年 2000円

郵便振替口座 00180-5-567296研究所テオリア

θεωρία
テオリア

発行 研究所テオリア

東京都千代田区内神田1-17-12

勝文社第二ビル101

TEL & FAX 03-6273-7233

ホームページ

<http://theoria.info>

E-mail: email@theoria.info

2016年の課題から見えるもの



2015年12月6日

2016年の課題
から見えるもの

敗戦70年と2015年は
どのような年だったのか。

9月19日、安倍政権は戦
争法Ⅱ「平和安全法制整備
法」「国際平和支援法」の
「成立」を強行。

沖縄・辺野古では強権的
な新基地建設が進められ
てきた。安倍政権は、国が私
人に成りすまして沖縄県の
決定執行停止を同じ国に求
めた。さらには国家の基地
建設の方針に沖縄は従え
と、翁長知事の埋立承認取
消の取消しを求めて沖縄県
を提訴。警察による不当な
弾圧も相次いでいる。

70年間清算することがで
きなかった日本帝国の戦争
と戦後国家のあり様の結果
が戦後の民主主義・平和主
義・立憲主義を否定する方
向で突出してきた。

だが、民主主義・立憲主
義・平和主義を否定し暴走
する安倍政治に正面から対
決したのは、2015年に
立ち上がった新しい運動
だった。まさに近代・戦後
の歩みを、国家の側からで
はなく、市民・民衆の側か
らとらえかえし、継承しよ
うとするものだ。

12月12日、与党の税制改
正に関する協議が決着。マ
スコミ報道は軽減税率に終
始。本来、税制改革の焦点
である消費税増税、消費税
自体を問う報道はほとんど
ない。ここにも現在の日本
社会・政治の課題が表れて
いる。
(12月13日)

座標塾第12期 (2016年1月～3月)

第1回 民主主義の甦生

——2015年安保闘争の中から 1月22日(金)

第2回 EU危機をどう見るか

——反緊縮の抵抗とオルタナティブ 2月19日(金)

第3回 アベノミクス再審

——税と社会保障から考える 3月18日(金)

講師 白川真澄

コメント 第1回・丹波博紀

第2回・稲垣豊

第3回・未定

時間 午後6時半～9時

会場 文京シビックセンター13階会議室

(第3回は予定)

参加費 通し2500円(会員1500円)

1回1000円(会員500円)

※要申込

連絡・申込先 研究所テオリア

03-6273-7233

email@theoria.info

シリーズ三里塚闘争50年第1回

管制塔から見た「成田」と50年の「三里塚」

講師 中川憲一(78年管制塔占拠闘争元被告)

「大義の春」ほか上映

1月30日(土)午後6時15分開場

文京シビックセンター14階会議室A

参加費 当日千円、予約800円(会員500円)

国連・憲法問題研究会報告63集

日本軍「慰安婦」問題

——何が問われているのか

梁澄子

定価 500円

紙面紹介

座談会 2015年安保闘争から私たちはどこへ進むのか
大井赤彦・奥山たえこ・橋本久雄……2～5面
難民問題によせて——日本という国は政治難民を助け
ない 山口智之／学生・学者・市民の共同行動 6面
マイナンバー制度廃止を／三里塚……………7面
公正な税制を求め集会／オール神奈川の会……………8面

テオリア 2016 新年座談会

2015年安保闘争から
私たちはどこへ進むのか「2015年安保」を
改めて問う

「保守的」な新しい運動

司会 2015年の大きな動きとしては、戦争法「成立」と安保闘争の盛り上がりがあった。一方で安倍政権は参院選までは経済というところで、経済を前面に出している。現状をどのように見て、批判していくのかを議論していきたい。(以下、文中敬称略)

選したが、3期12年間、杉並区議会議員(緑の党)を務めてきた。安保法案では、行ける時には国会前へ行って、総がかり行動やシールズ、ミドルズの行動に参加。時には徹夜した。地元の阿佐ヶ谷であったデモにも参加した。

奥山 15年4月の選挙で落橋本 71年入学した大学を

直ぐに辞めて石川島播磨重工の田無工場に就職。F15などジェットエンジンの特殊検査の仕事をした。原発の格納容器の蓋の検査もした。第二労組の中の少数派で労働運動をしていた。

99年小平市議会議員になって現在5期目(緑の党)。

大井 広島出身の35歳で、大学の非常勤講師などしている。赤玄という名前だが、政治的な立場は赤というよりピンク(リベラル左派)。

司会 2015年安保では何度か国会前に行き、ネット上で情報発信をしていたら、それを機縁に『現代思想(安保法案を問う)』(青土社、10月号)に「運動を掴む政治学のために」熟議・左派ボビュリズム・戦後民主主義」を書いた。

2015年安保の運動には、右からも左の一部からも批判があるが、シールズなどの運動には大きな意義があり、それを肯定的に受けとめようという立場で発言している。

司会 2015年安保では何度か国会前に行き、ネット上で情報発信をしていたら、それを機縁に『現代思想(安保法案を問う)』(青土社、10月号)に「運動を掴む政治学のために」熟議・左派ボビュリズム・戦後民主主義」を書いた。

新しい発想と言葉

大井 シールズの人たちが書いたものをいろいろ読んで、みんな、原発事故をきっかけに社会に関心を持ち、脱原発デモも起こり、その先今回の安保法案反対デモがあった。

脱原発デモ以降、デモのノウハウも4年間で改めて蓄積され、それがうまくシールズなどに継承されていった。

あるシールズの学生は、旧来型のデモに初参加したら、若いんだからと幕を持たされ、お決まりのシブアップレヒコールを叫ばされたという。

大井 シールズは「どう見られるか」をかなり戦略的に勉強している。「I tell me what democracy looks like!」などのコールがあって、それが新しい。それでも、「憲法を守れ」など古いコールも全廃はしない。そこがシールズのえらいところで、古いも

大井 シールズは「どう見られるか」をかなり戦略的に勉強している。「I tell me what democracy looks like!」などのコールがあって、それが新しい。それでも、「憲法を守れ」など古いコールも全廃はしない。そこがシールズのえらいところで、古いも

出席者

大井 赤玄(日本学術振興会特別研究員)

奥山 たえこ(前・杉並区議会議員)

橋本 久雄(小平市議会議員)

司会 繁山達郎(研究所テオリア)



おくやまたえこ

は、それまで立ち上がる人が少なかった学生のシールズ、ママの会などの新しい運動が立ち上がったのが特徴。どう評価するのか。

政治に無関心で慎ましやかに暮らしていた人が、そういう暮らしもダメにな

と声を上げた。保守的な運動から出発したけれども、それを突き抜けて、新しいものを創り出していく運動に変わっていったのがすごい。暮らしに根ざしている。

安保闘争法はもう、TPPやこの間のいろんな法律に暮らしているのかという危機感があった。自分の暮らしに照らしてどうなのかという運動なので、しつこい運動になるのではない。

橋本 15年安保は、13年12月に特定秘密保護法が成立し、物が自由に言えなくなるといふ不安が生まれたのがベースにあると思う。

奥山 2015年の運動で若い人たちが立ち上がって子育て中のママというのは本当に忙しいと思うが、そういう人が立ち上がって運動を始めたのは、すごいと思う。



はしもとひさお

僕らの世代はデモへ行って反対と叫んでいる運動しかやってこなかった。今までは違う新しい運動だと思う。

大井 私はシールズと比べると若々しいが、若い人と付き合いが多い。

今大学で学生を教えているが、彼らは冷戦時代は全く知らない。だから、左右とか冷戦的な考え方をすることが全く無い。

でも、2011年の3月11日にどこにいたの?と聞くと、私はこうでしたと直ぐに返ってくる。大きな出来事で、集団的な記憶になっている。

クラシカルな問いと応答

大井 「2015年安保闘争」とは何か。それはクラシカルな問いに対するクラシカルな応答がなされた。

クラシカルな問いに対するクラシカルな応答がなされた。

その時、これは自分の言葉ではない、ウソをいっているような感じがして、だから自分の言葉だと思っただけで主張したいと思ったと語っている。

シールズは「どう見られるか」をかなり戦略的に勉強している。「I tell me what democracy looks like!」などのコールがあって、それが新しい。それでも、「憲法を守れ」など古いコールも全廃はしない。そこがシールズのえらいところで、古いも

のを完全に放棄するわけではなく、ロートルとも共存する。

橋本 あのコールは我々の発想では出てこない。悲壮感もないし、参加していて楽しかった。

奥山 インターネット、東浩紀が津田大介、シールズの2人と話をしているのを見た。東は、シールズに君たちは憲法を守れという穏健なことしか言わない。

君らは人畜無害だからよかったんだという趣旨の話をしていて、脱原発デモなど人びとが街頭に出てデモをするというのが普通になっていったのがあって、あれだけの盛り上がりになったんじゃないかと思う。

東は、最初、安保法案に関するやり取りなんか人びとは関心を持っていないかつ

どう、奇をてらわずにクラシカルな応答がなされた。

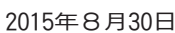
シールズは見た目が斬新で、感情を放出させる表現も象徴的だが、その主張は非常にクラシカルかつ上質な自由主義の立場で、ある意味で「保守的」とさえい

だから、デモの主張も立憲主義の擁護を通した主権者「われわれ」の再確認な



おおいあかい

参院中央公聴会(9月15日)で意見を述べた奥田愛基に、荒井広幸議員(新党改革)が自衛隊は合憲か違憲かと質問し



か 違

も、今回それは問題にしてい
ない。

というか、それは言わな
いお約束よという暗黙の了
解があったと思う。

橋本 自衛隊をどうするの
かは議論にならなかった。

……

2つの変化

大井 良いほうに変わった
ことが二つある。

政治を変えるには二つの
やり方があると思う。第一
に、政治エリートにプレッ

反対している人でも、自衛隊もダメなんだという人から、専守防衛なら認めるという立場までいる。

のかも。

大井 安倍政治の反動ぐあい
があまりにもひどいの
で、それとの対決を一番に
せざるを得ない。

奥山 だから、結束せざる
を得なかった。

明、国会前で「民主はんばれ」など野党ががんばれコールが自然発生的に起きたが、政治変革をめぐる二つの立場が融合していった光景だった。

ントラスト的に指南をして政党・政治家を変えていく方法で、代表運動の力を再認識した。

的には政治学者の山口二郎。彼は民主党を社民化させるため、長年民主党に接

他方、社会運動の側も変わり、運動が共産・社民はもちろん民主党リベラル派とも繋がることの重要性を再認識した。参院で採決された9月18日夜から19日未

系の勢力が育っていくことが大事だろう。今回、運動と議会内の「よりまともな勢力」とが繋がる回路ができたと思う。

共産党系もかつてはエゴ

大井 日本の運動は反権力
というのが強かったが、今
回の運動は反権力ではなく
主権者であることを再確認
した運動だった。

2016年参院选举

の持つ意味

どう対決するか

司会 大井さんは欧州の反緊縮運動を左派ポピュリズムという観点から分析している。日本との共通点・相違点をどのように考えるか。

大井 ヨーロッパでは保守
中道も左派・社民もダメ、
もっと大胆に変えていこう
と、ギリシャのシリザ(急
進左翼連合)、スペインのポ
デモスなどの左派ポピュリ

いと思う。ヨーロッパで左翼は弱まったとはいえ、保守VS社民の対立軸が歴然と存在し、社民も政権を担いうる「もうひとつの体制」。だからこそ社民も保守

するのには避けられない。

これまで20代の投票率は20%台。年齢と投票率はほぼ比例していて、年齢が上がると上がって、60代が一番高い。安保闘争があって、

といけない。シールズは1人区全勝を掲げている。橋本 1人区でも共産党は既に何人か候補者を決定している。候補者調整は簡単ではない。

を形にしてほしい。

橋本 市民から一本化の話
を地方の共産党にすると、
本部からの指示を待ってい
るということもあるらしい

(4面へ続く)

を両方否定する左派ポピュリズムに価値がある。

日本の場合、保守に対抗するブロックが本当に小さくなった。社民勢力の没落ぶりが世界的にも稀有なくらい激しい。民主党は政治的に混淆的な性格。そういう日本の状況から考えれば、保守も社民も同根だ、自民も民主も同じ穴のムジナだという議論よりは、デモをしている運動と野党とがつながることが大事だろう。

橋本 小平市議会では安保法制、辺野古新基地。オスプレイ横田配備の問題で意

見書を挙げた。

都内で安保法制反対の立場の意見書を挙げる事ができたのは4つ。他は国立、小金井、武蔵野。区部はヤ口だと思う。

意見書を契機に超党派で街頭宣伝をし、初めて共産と一緒に行動した。緑の党としては、毎月三多摩地域で街頭宣伝をしている。

いま右翼の側から、慰安婦問題、辺野古の決議に反対する決議を出す動きが全国的に起きている。それにどう向き合っていくのか。自治体議会でも難しい問題を抱えている。

一部の県で統一の動きはある。市民が首頭を取って全県で政党に呼びかけるところまでいけば面白くなると思う。

奥山 共産党の「戦争法廃止国民連合政府」の呼びかけを見ても、共産党のほうが上手で、民主党は引つ張られているだけと見える。

戦争法が9月19日未明に強行採決されて、19日午後に連合政府構想を出した。候補者調整などもあるのので、大分前から考えていたはず。

橋本 共産党もやり方を変えてきている。党勢拡大を

参院選挙をどうするか

司会 世論調査を見ると、安保法制強行採決で下がった安倍政権の内閣支持率が採決前の水準に上がっている。立憲主義・民主主

20代の投票率が20%くらい跳ね上がるのか。まだそこまでは行っていない。

参院選挙にどう対応するのかが問われる。

大井 共産党も今回は「本気」なのだと思う。共産党の提言の副産物として、民主党内の容共派と保守派と

義を否定する暴走を続けている安倍政権の支持率が高い背景にはアベノミクス、経済成長に対する期待がある。戦争法反対とアベノミクス批判をどのような結びつけていくのか。この論理、運動の組み方が見つからないと、安倍政権の暴走を阻む運動は厳しい状況が続く。

札幌、福岡など地方での安保法制反対集会でも、これまでの何倍もの人々が集まっている。人々の声を選挙に反映させていかなければいけない。1人区でも統一候補を立てようという議論があり、東京選挙区で無所属共同候補を出そうと準備している。

が見えやすくなった。民主党は玉石混淆で個々の議員を見ないといけないと訴えてきたが、玉と石が見えやすくなった。岡田執行部は中庸保守だと思うが、比較的、右派を抑えてリベラル派に親和的になっている。進行中の話なので確定的なこととは言えないが、両党

橋本 2016年で言えば、夏の参議院選挙をどうするのかは避けられない。

これまで20代の投票率は20%台。年齢と投票率はほぼ

34県32選挙区は1人区なので、候補者一本化をしないといけない。シールズは1人区全勝を掲げている。

ぬが華」、互いを褒める精神で、一人区での「民共合作」を形にしてほしい。

がると上がって、60代が一
番高い。安保闘争があつて、

ではない。候補者調整は簡単

と音からのはたきを得てい
るといふところもあるらし
(4面へ続く)

(3面から続く)
い。地域によって温度差はかなりあると思う。

ただ、戦争法廃止でまともな候補者を下ろすまで決めたわけだから、それに対応できる運動を市民も作らないといけない。

奥山 デモに来た人たちがそのまま選挙をやるわけではない。運動と選挙は違う。選挙は、泥臭いものだ。

大井 これまで候補者調整へ行く。

東京選挙区をどうする

大井 複数区ではどう考えているのか。東京選挙区だと、今回から定数が1増えて6人区になる。

橋本 東京だと、民主党現職が2人、共産党は前回(13年)当選させているので、市民派でもう一人擁立する。戦争法に反対する候補で定数6の過半数4人当選をめざさないといけない。できれば、社民党、生活の

党などと協力した選挙にしたい。

一部では、市民派を擁立すると民主候補の落選につながるから擁立するべきではないという声もある。

だが、それは違うと思う。2015年安保で市民が動いてこれだけのうねりをつくれた。既成政党ではいやだと言う市民が一定数いる。市民が動いて、国会議



2015年8月11日

員を誕生させる意味は大きい。今議論しているところで、年明けには形にしたい。東京選挙区がカギのひとつになる。

地方議会で活動している、民主党もいろいろが多い。市民派はそういうのを見ているから、これまでは連携しようというのがあまりなかった。

連携した例としては、14年総選挙の東京18区(武蔵野・府中・小金井)で民主党の菅候補を応援した。彼は市民運動と結びついた活動をしてこなかったが、緑の党に推薦依頼をしてきた。小金井は市民運動が活発。菅元首相なんて応援なんかできないという声は多かった。

司会 消費税・TPPなどやったことを考えたら、当然の批判。

橋本 それでも、利害が一致した。菅元首相も市民運動の支持を得なければもう当選できない。私たちも対立候補の土屋(自民党)よりはましだ。結果は復活当選だった。

立憲ネットの取り組み

大井 六〇年安保でも、5月6月は盛り上がったが、11月の総選挙では所得倍増の自民党が勝利した。そう簡単に運動は選挙につながらないだろう。

中野晃一『右傾化する日本政治』(岩波新書、2015年)は、リベラル左派の主張の最大公約数をうまく

私たちが自分たちの立場に閉じこもらないで出て行った。私たちがみないな左っぱい市民派も変わってきた。民主党サイドのやり方は下手で、市民と連携しようという動きは見えない。恒常的な連携は具体化していない。

奥山 1人区での候補者一本化と東京での市民派候補擁立運動は当然セットで動いてほしい。15年に新しく立ち上がった運動はどうするのだろうか。

橋本 もちろん、シールズなどに働きかけはしている。戦争法廃止運動は民主共産の候補も含めて応援して、相対化したらいいと思う。

奥山 デモをしても、それが選挙結果にはつながらないというのがこの間の選挙結果を見れば分かる。つまり、政党・候補者からすれば、戦争法廃止選挙と言うが、あなたたち市民は何枚ビラ撒きできるんだ、街頭宣伝できるんだという泥臭い話になる。これから、市民の側が試される。

奥山 戦争法の話からずれるが、政府は少子化で大変だ、出生率を上げなければいけないと言っている。しかし、政府がやっていることは真逆。派遣を増やし、ホワイトカラー・エグゼンプションをめざし、社会保障給付をどんどん絞る。少子化を解決したいのなら、若い人、私はフェ

共産党は二段階革命論で最初は民主主義革命なので、共産党がリベラルの価値を再確認することは比較的容易だろう。民主党は半分がリベラルだが、半分はそうではない。菅元首相に関しても、脱原発は熱心だが、TPPや消費税などで彼の動きを左派は承服しかねるだろう。どうすればネオリベと手を切ったことになるのか定義も難しいが、民主党のリベラル派の変化が極めて重要と思う。



2015年10月3日

一候補をという呼びかけを出す。大きな動きではある。橋本 立憲ネットは12月20日に大きな集会をやる。国政選挙で動くのは半分くらいだと思うが、共同候補が実現すれば動くと思う。

奥山 地方議員は全国に3万人いるが、立憲ネットは

一候補をという呼びかけを出す。大きな動きではある。橋本 立憲ネットは12月20日に大きな集会をやる。国政選挙で動くのは半分くらいだと思うが、共同候補が実現すれば動くと思う。

奥山 地方議員は全国に3万人いるが、立憲ネットは

2016年の課題から

見えるもの

10年の単位で考える

奥山 戦争法の話からずれるが、政府は少子化で大変だ、出生率を上げなければいけないと言っている。しかし、政府がやっていることは真逆。派遣を増やし、ホワイトカラー・エグゼンプションをめざし、社会保障給付をどんどん絞る。少子化を解決したいのなら、若い人、私はフェ

奥山 戦争法の話からずれるが、政府は少子化で大変だ、出生率を上げなければいけないと言っている。しかし、政府がやっていることは真逆。派遣を増やし、ホワイトカラー・エグゼンプションをめざし、社会保障給付をどんどん絞る。少子化を解決したいのなら、若い人、私はフェ

奥山 戦争法の話からずれるが、政府は少子化で大変だ、出生率を上げなければいけないと言っている。しかし、政府がやっていることは真逆。派遣を増やし、ホワイトカラー・エグゼンプションをめざし、社会保障給付をどんどん絞る。少子化を解決したいのなら、若い人、私はフェ

奥山 戦争法の話からずれるが、政府は少子化で大変だ、出生率を上げなければいけないと言っている。しかし、政府がやっていることは真逆。派遣を増やし、ホワイトカラー・エグゼンプションをめざし、社会保障給付をどんどん絞る。少子化を解決したいのなら、若い人、私はフェ

奥山 戦争法の話からずれるが、政府は少子化で大変だ、出生率を上げなければいけないと言っている。しかし、政府がやっていることは真逆。派遣を増やし、ホワイトカラー・エグゼンプションをめざし、社会保障給付をどんどん絞る。少子化を解決したいのなら、若い人、私はフェ

アジェンダは経済・生活

橋本 ここまで話をしているが、PKO法の任務拡大などは参院選後にしてくる。

奥山 同感。参院選挙の政治争点になるのは戦争法ではなく、景気・経済だと思

橋本 参院選の争点になるとしたら、経済、生活、格差、TPPなどのテーマだと思

奥山 同感。参院選挙の政治争点になるのは戦争法ではなく、景気・経済だと思

奥山 同感。参院選挙の政治争点になるのは戦争法ではなく、景気・経済だと思

奥山 同感。参院選挙の政治争点になるのは戦争法ではなく、景気・経済だと思

奥山 同感。参院選挙の政治争点になるのは戦争法ではなく、景気・経済だと思

奥山 同感。参院選挙の政治争点になるのは戦争法ではなく、景気・経済だと思

奥山 同感。参院選挙の政治争点になるのは戦争法ではなく、景気・経済だと思

奥山 同感。参院選挙の政治争点になるのは戦争法ではなく、景気・経済だと思

奥山 同感。参院選挙の政治争点になるのは戦争法ではなく、景気・経済だと思

奥山 同感。参院選挙の政治争点になるのは戦争法ではなく、景気・経済だと思

奥山 同感。参院選挙の政治争点になるのは戦争法ではなく、景気・経済だと思

奥山 同感。参院選挙の政治争点になるのは戦争法ではなく、景気・経済だと思

奥山 同感。参院選挙の政治争点になるのは戦争法ではなく、景気・経済だと思



辺野古新基地NO＝2015年11月29日

口の後、「テロとの戦争だ」と空爆を拡大したオランダ政権の支持が上がった。司会 戦争法反対とそれ以外の課題をどのように結びつけることが出来るのか。

解りやすい言葉を

橋本 でも、「一億総活躍社会」とかありえない。GD P500兆円を600兆円にするとか。明らかに無理なことが受け入れられている。そう思っている人たちがいる。

奥山 そのリアリティを考えると、三本の矢ではなく、的だろうとか言っている。ともかく、まともに考えていないし、検証もしていない。それでも支持率が上がる。

橋本 マイナンバーに関しては、いい運動をつくって奥山 12月1日、東京地裁

にマイナンバー違憲訴訟を提訴した。全国の訴訟と連携して訴訟を進めていく。運動側もマイナンバーの講演会などを行っている。「どの政党が反対していますか」「共産党が勝てば制度は廃止されますか」と質問が出た。

1月から使用開始だが、マイナンバーなんかめんどくさい、やめてくれと、個人からも事業者からもならないかと思っている。司会 アベノミクスとマイナンバーはどのようになるのか。

奥山 通底しているところはあるが。

もちろん、マイナンバーは本来やる必要性は全く無い。最初に民主党政権が税と社会保障の共通番号を出

具体的政策を

橋本 反対だけの運動ではダメ。僕らはどういう社会を創っていくのかを言わね

貧困率が先進国2位なわけで、貧困率を5%にするとか。女性の国会議員を5割にするとか。そういう具体的な政策をこちらから出していくことが必要。

安倍政権が最低賃金を2020年に1000円にするといった。僕は最低賃金1000円にしろと昔から言ってきたわけで。具体的な暮らしに根ざした政策を言っていないと。あれダメ、これダメをいっているだけではない。

した時は、負の所得税で所得が無い人にお金を給付するためにやるという話だった。そのためなら、納税者番号で足りる。

自民党政権に戻って、民主党政権が作った法案をほとんど変えることなく、更に余計なことを、膨大に付け加えている。民主党もそれに反対しないという点では、どちらもどうしようもない。税金のものをすごい無駄遣いだけどやりたがっているという点ではアベノミクスにつなげられるかもしれない。

しかし、解りやすい言葉で言うのは難しい。ポピュリズムに乗るというわけではないが。解りやすい言葉で言わないと勝てない。

菅政権が政治の目的として最小不幸社会を打ち出し、個々人が幸福を追求できる条件の整備を掲げた。内容はまったく正しく重要だと思うが、リベラル左派もそうだった地味な課題を華々しく打ち上げる陽気なキャラが必要だろう。

橋本 最小不幸社会というのは硬すぎる。それはあると思う。

奥山 私たちはまなじりを決めている感じで、正しすぎるんだと思う。

大井 安倍政権は安定していると思う。オリンピックを華々しく打ち上げて、景気のいい話が多い。オリンピックだ、アベノミクスだと、華があり話題性がある。他方、左翼の小難しい話は、仕事に疲れた人など聞く耳をもたないだろう。

奥山 安倍首相たちはいつ

も余裕持った風に歩いているね。

大井 それで安倍が一張羅の背広でサミットとか出て、外交で堂々と渡りあう絵をメディアで流される

と、世間の人も「すごい人なんだ」となるんだろうと思う。

書生的な話かもしれないが、リベラルの側で、人を引きつけて権力もしっかり把持した例となると、F・ルーズベルト米大統領やアトリー英首相、金大中韓国大統領を連想する。語っていることは、社会保障とか人権とか当たり前のこと。だが明るく開放的で、ユーモアもあって人びとをひきつける。

菅政権が政治の目的として最小不幸社会を打ち出し、個々人が幸福を追求できる条件の整備を掲げた。内容はまったく正しく重要だと思うが、リベラル左派もそうだった地味な課題を華々しく打ち上げる陽気なキャラが必要だろう。

橋本 最小不幸社会というのは硬すぎる。それはあると思う。

奥山 私たちはまなじりを決めている感じで、正しすぎるんだと思う。

大井 私は、もう少し批判的に見るいつも叱られるが、アメリカのリベラルな政治家の主張やスタイルに感服することが多い。演説を聞いていても、「糞アメリカ

力、あっぱれ！」と思う。沖縄の基地問題など外交についてはリベラルと保守でそれほど変化はないが、米国内の問題ではかなり違いがあり、現在両極化している。

オバマは大きな政治達成があるといつも、It's so me」と言う。自分が当選したときも「あなたの勝利だ」と。それは政治への国民の参加意識を強めると同時に、これから待ち構える多くの困難や妥協の責任をも負わせるレトリックだが、それがアモクラシーだろう。安倍は「私が最高責任者」「私の内閣」と、いつもIt's me. そうなると

日本の民主党政権はガタガタだったが、40年間も自民党政権だったので、うまくいかなくて当然だと思っ

て共感的に見ていた。いかに失敗したとはいえ、日本でも政権交代が起きた事実、そういう前例が出来た事実、自民党以外の選択肢があるという考えに有権者が馴れた経験は大きいだろう。

だが、なかなか伝わらない。しかし、そのことを言っていきたいし、少しでも食い止めることをやっていきたい。

橋本 向こうがやることに全部反対だという運動をしてきた。今回の運動は、その点で生活を守るとか、そういうところを突き抜けて、今の政治を変えなければというところに行きつつある。

こちらからこうすると言っていく政治の立て方をしたいと思う。

市議会で決算討論をして、ただ批判をするだけではなく、これを作りませんかという切り返しをけっこした。私たちはそういうのを考えていかないといい

ない。大井さんが言われたとおり、運動は楽しく無いと。政策をきちんと作って、言っていく運動をやっているか。

我々が何をしたいのか、どういう社会をつくるのかを言っていく。それを選挙も含め、運動をやっていく。2015年安倍では、これまで若者が政治に対して持っていたペシミズムを打破する文化変容が生じたと感じる。

2009年の政権交代は潰えたが、いずれ再び、自民党に代わる勢力に振り子が戻るだろう。その時、その好機をしっかりと掴み支えて伸ばしていくために、力を蓄えたい。

司会 本日はありがとうございました。ここ数年、リベラル・左派は冬の時代で、耐えて耐

どう展望するか

最後に2016年の展望・抱負をお願いします。

奥山 私の2016年の課題はマイナンバー。

他には、10年計画ではないが。議員時代から貧困問題に取り組んできた。今は高円寺の素人の乱の店を借りて食堂をやっている。困窮者は無料。それ以外は1食500円で食べられる。まだ、月1回だが、もう少し広げていきたい。

ただ、安倍政権が社会をズタズタにして、貧困を拡大してきた。その尻脛を私たちがやるのかよという思いはある。しかし、貧困の現実が目にあるわけ

で、やらざるをえない。先ほどの少子化対策の話も、私の中では説得力があ

テオリア論集3

徹底検証 安倍「成長戦略」

安倍政権の「女性活用戦略」

——仕事も生殖も介護も……って本気ですか？

水島 希

アベノミクス

——誰のための「成長」か？

宮崎 礼二

東日本大震災とショック・ドクトリン

——「復興」便乗で再び収奪される東北

金野 正晴

TPPと日米のアジア太平洋戦略

金子 文夫

定価 1000円

発行 研究所テオリア

難民問題によせて

——日本という国は政治難民を助けない

山口智之

APFS労働組合
執行委員長

昨今、大きなニュースとなっているシリア難民問題を契機に「難民」という言葉がクローズアップされてきたと思う。イメージとしては着の身着のまま歩き続け、飢えに耐え、生き絶え絶えに他国へたどり着く……というところであろうか。

恐らく現実問題として多くの日本人にとって政治難民とは遠い存在としか映らないであろう。リアリティをもって受け止めることはできないのではないのか。

当組合は外国人労働者（移住労働者）中心の合同労組であり、2007年の設立以降8年間で400名を越える移住労働者が加入し個別労使紛争に取り組んできた。その中には本年11月に実施された総選挙で民主化勢力が大勝利したビルマ（ミャンマー）や、貧困と民族紛争をはらむ独裁政治に未だ苦しむエチオピア出身の仲間もいる。



彼／彼女らの多くは、迫害を恐れ母国から逃げてきたり、母国へ帰国できなくなったため日本での在留を求めて「出入国管理及び難民認定法」で定められた難民申請を法務省入国管理局に行う。その結果はさまざまである。難民と認定される者、難民とは認められなかったが一定の事情を考慮され人道的配慮から在留を認められる者、不認定の結果が出て異議申立を行う者……。いずれにせよ、少なからぬ難民が日本国内にも存在すると、そしてそ

の難民たちはまさに私たちが隣人として、この地に生

認定はわずか11人

では難民に対する政府の対応はいかなるものか。御存知の方も多いと思うが、これが想像を絶する酷さなのである。

法務省入国管理局の発表によれば、一昨年（2014年）の難民申請者は5000人にのぼる。うち、難民の地位を認定されたのはわずか11人にしか過ぎない（一次審査での認定6名、異議申立による認定5名）。

難民と認定はされなかったものの、一定の事情を考慮され人道的配慮により在留許可された人数も前年より41人減って110人である。一言でいって異常な数字である。日本という国家は難民を、ほとんど認めていないのだ。とりあえず、2点だけ指摘しておく。

まず、他国に比して圧倒的に低い難民認定数である。一言でいえば非常識な事態だ。

他の「先進国」の多くが（シリア難民発生以前か

の議定書も作成）のだが、この条約には日本もすでに30年以上前の1981年に加入しているのだ。

国内においても2011

年に衆議院、参議院両院において難民保護を進める旨の国会決議が全会一致でなされている。（難民の保護と難民問題の解決策への継続的な取り組みに関する決議）第179回国会の衆・参両議院にて可決

さらに、やはり戦後、苦境を強いられていた難民支援のために国連総会で設立された機関UNCHCR（国連難民高等弁務官事務所）に対して大口の寄付国として知られているのが現在の日本という国家なのである。

次に法令上、国際関係上の問題もある。戦後の1951年、国連全権委員会において採択された国際条約「難民の地位に関する条約」により世界的に難民保護の必要性が広く認識されるようになった（1966年には条約を補充するため

となれば、首相からして難民問題を全く理解していないのだから。

本年9月30日、安倍晋三

は国連総会一般討論演説でシリア・イラク難民問題について、8億1000万ドル（972億円）の経済支援実施を表明したが、その直後、海外メディアからの

「難民の一部を日本に受け入れることは考えられないか」との質問に平然とこう答えて失笑を買った。「我々は移民の前に、女性の活躍であり、高齢者の活躍であり、出生率を上げていくにはまだまだ打つ手があると

いうことでもあります」この男には政治的迫害から逃れるためにやってくる「難民」と、主に経済問題を根底に置いて発生し国家間を移動する「移民」の差異すらも理解できないのである。このような人物が指導者然として君臨する国に、難民を救うことなどそもそもできないのかもしれない。そう考える方が自然だろう。

だから、残念ながら身近の難民の仲間たちに私はいつも言うのだ。

「もし母国を捨てて逃げようとする親戚や友人がいるなら日本には来な、と言ったほうがいいよ」と。そして、この国の冷たさ、法務省入国管理局の在り方を身にしみて知っている彼／彼女らは、私の言葉に黙ってうなずくのである。これは本当の話である。

「難民」「移民」の

差異すら理解できず

しかるに、こうした立派な建前とは裏腹の、難民を拒否するがごとき振舞いはどうであろう。建前上、国際条約は批准し、国家として難民保護は謳う。加えて金銭的には難民の為に、と大盤振る舞いするが実際に

難民が入ってくるのはお断り、ということではないか。これが、残念ながらこの国の難民政策である。この国の政治家が迫害を逃れて懸命に生きる人々に見せる対応である。しかし、それも当然かも知れない。なん

戦争法廃止へ学生・学者・市民の共同行動

参院選へ向け
野党共闘を

成り立った平和で自由な国をなせ変える必要があるのか。戦後を何十年何百年も続けていきたい。

デモに参加しているんなところでお叱りを受ける。だが、憲法の解釈を変えてどこに行くのか。国民の理解が進んだら、安保法制への反対が増える。これから、私たちの子ども・孫がどこの戦争に行かない日本でありたい」

学生、学者のアピールが行なわれ、SEALDsのくるみさん（大学1年）が「私は現政権によって民主主義が侮辱されたこの年を忘れない。

後になって過去がなかったことにすることはできない。この法案は過去への侮辱。おびただしい死と破壊、ゆがめられた人生、分断にあった民族、終わらない戦後。私たちは歴史を背負って生きており、過去とは決別できない、してはいけない。過去に盲目となるのは

この国が海の向こう側の誰かを殺し、私たちが殺されることには耐えられない。犠牲を必要とする平和とは決別する歩みを進めよう。私は未来を選び取る自由を決して手放さない」

訴訪原健さん（SEALDs）は、「安倍政治の価値観は全体主義。おかしいに決まっている。憲法を守れ、子どもを守れ、未来を守れ」と当たり前のことを言わなければならない社会は終わりにしよう」

発言者からは参院選へ向けた野党共闘が呼びかけられた。

集会後、参加者は東京駅まで銀座をデモ。戦争法廃止を訴えた。



棄却策動は許されない。

